

非思量 NO.327

冬雪冴えて すすしかりけり

今年もいよいよ残り一週間となりました。列島に寒気が流れ込み、冬の寒さも身にしみる年末です。

こんな日に思い出すのは先代住職が好んだ道元禅師の和歌「春は花 夏ほととぎす 秋は月 冬雪さえて すすしかりけり」です。

子どもの頃、私が疑問に思ったのは、なぜ冬の雪がすすしいのだろうという事でした。

大人になり、「すすしい」の意味が「心が清々しい」「わだかまりがなくさっぱりしている」という意味である事を知りました。そして、永平寺に安居し、雪で真っ白に覆い尽くされた御山で修行生活を送る日々を通して、大自然の中で共に生かされている自分を認識し、「すすしかりけり」の本当の意味を実感いたしました。

英語に cool (クール) という言葉があります。若い人は「いいね」「最高だね」という意味でこの言葉を使います。

まさしく自然の恵みや四季の移ろいは、素晴らしく最高のものです。

自然の美のありのままを素直に詠まれた道元禅師のお気持ちは、そのままだの御命（おんいのち）であり、禅の世界です。

体験を通して大自然と一つであることを実感すること、その境地になりきるのが坐禅の姿です。

今年は本堂新築工事の為、客殿での坐禅会開催となりましたが、仏の御命は、世界中のあらゆる場所に恵みを与えてくれています。それを実感するのが禅なのでしょう。

これからも、御山で修行させて頂いた気持ちを忘れずに、先代から引き継いだ早朝坐禅会を続けていきます。

今年一年ありがとうございました。来年も宜しくお願い致します。

